

特定非営利活動法人 国際社会人剣道九州クラブ会報



INTERNATIONAL GOODWILL KENDO CLUB

2018年52号（平成30年9月）

剣志

KEN SHI

発行者 九州地区クラブ

会長 加野 資典

幹事長 佐藤 博喜

ホームページアドレス <http://www.npo-igkc.or.jp> eメール nakamichi3303@outlook.jp

野分けの夜 書読む心 定まらず

正岡 子規

裏山に 一つの道や 葛の花

野村 喜舟

九州地区クラブの9月例会は恒例の遠征例会です。今回は「玉名例会」（熊本県玉名市玉名武道館）にて平成30年9月8日に開催しました。

熊本県玉名市は、熊本県の北部に位置する人口66千人の都市です。市内にある「玉名温泉」、「小天温泉（おあま）」は有名です。

玉名市は、特に2人の偉人を輩出しております

まず一人目は、2019年NHK大河ドラマ「いだてん」の主人公“金栗四三先生”です。金栗先生は、1891年（明治31年）8月20日玉名郡春富村（現：和水町）に生まれ、地元の旧制玉名中学校を卒業され、東京師範学校（現：筑波大学）に進学されてあります。玉名市名誉市民で、日本マラソンの父と呼ばれ、マラソン選手として3度の世界記録を樹立し、日本人で初めて、第5回オリンピック・ストックホルムに出場しました。さらに、第7回アントワープ大会、第8回パリ大会のと3度のオリンピックに出場を果たし、生涯に走った距離は25万キロ、実に地球6周と4分の1と言われています。現役引退後にもマラソン界に尽力され、正月に行われる「大学箱根駅伝」を発案され、現在も続いております。

二人目は、剣道範士十段・大麻勇次先生です。大麻先生は1887年（明治20年）玉名市安楽寺生まれ、明治42年～43年まで、大日本武徳会本部講習生として剣道を修行される。その後、熊本に帰り、大日本武徳会熊本支部、熊本陸軍幼年学校で剣道を指導された。

昭和11年、剣道範士号を授与され、昭和37年、全日本剣道連盟より「剣道十段」を授与された。現在、玉名武道館の名簿の筆頭に大麻勇次範士十段の名前が掲げられてあります。

今回の玉名例会は、尾方正照先生（範士八段）、緒方仁司先生（教士八段）にご参加頂き、加野会長の挨拶の後、玉名市剣道連盟の先生方と一緒に稽古会を開始しました。



玉名市武道館



前列左より2人目が大麻勇次範士十段です。



稽古会

稽古会出席者：25名

(敬称略・順不同)

尾方 正照先生 緒方 仁司先生 加野資典会長
 佐藤 博喜 田中 義勝 大塚 勝也 秋山 勝年 廣松 守正
 西田 耕陽 小川 金吾 青沼 一博 祐田 斉 武富 直幸
 園田 智弘 溝口 勝正 大和 竹史 緒方 栄一 下林 千代鬼
 渡辺 勝彦 小島 公生 澤木 孝明 澤木 直子 坂本 忠弘
 中道 政生 平先生 (オブザーバー)

玉名剣道連盟の先生方5名、総勢30名の参加でした。



尾方正照先生ご指導

緒方仁司先生ご指導



最初の30分は玉名剣道連盟の先生方を交えて「相互稽古」をし、その後1時間は尾方先生、緒方先生が元立に立たれての「指導稽古」をして頂きました。両先生には、暑い中時間一杯のご指導をして頂き有難うございました。

稽古会の最後に、尾方正照先生より先日（7月25日福岡市）剣道7段審査会（尾方先生はパートの主任審査官）についての講評をして頂きました。着装はもちろんの事、蹲踞から立上っての発生、竹刀の握り方、構え、攻めて打つべき時に打っているか、「気剣体の一致」の1拍子の打ち方か、冴えのある打突か、打った後の残身は出来ているか等の審査官の目を説明して頂きました。

技術面を含めて、細かい審査官の着眼点まで説明して頂き、大変有義な例会であったと思います。8段の先生方、本当に有難うございました。

稽古会のあとは玉名温泉で疲れを取り懇親会に移りました。

懇親会

日時：平成30年9月8日（土）

場所：玉名温泉 **黄金館** TEL0968 (72) 3117

熊本県玉名市立願時 558 番地

時間：午後6時00分～9時00分

当地区の先生は12名の参加あり、剣道談義に花が咲きました。

※今回の例会は熊本の小島公生先生に大変お世話になり有難うございました。

この場をお借りしまして厚くお礼申し上げます。有難うございました。

平成 30 年 10 月例会のご案内

稽古会

日 時 : 平成 30 年 10 月 20 日 (土)
場 所 : 湯の坂道場 (久留米温泉道場) TEL0942 (33) 4126
久留米市野中町湯の坂 1235 番地
時 間 : 午後 3 時～4 時 30 分

当日午後 2 時より「日本剣道形」の稽古をします。ご希望の方はご参加下さい。

※当初の予定では 10 月例会は 10 月 13 日にしていましたが、10 月 20 日に変更致します。お間違えの無きようお願い致します。

平成 30 年 11 月全国例会のご案内

日 時 : 平成 30 年 11 月 23 日 (金)～25 日 (日)
(臨時総会) 11 月 24 日 (土) 午後 7 時～
(第 15 回国際親善剣道大会)
平成 30 年 11 月 24 日 (土)～25 日 (日)
会 場 : 品川区総合体育館 TEL03 (3449) 4400
〒141-0022 東京都品川区東五反田 2-11-2

地区クラブ・地域名

九州地区クラブ

(敬称略)

チーム名	Aチーム		監督氏名 佐藤 博喜			
	先 鋒	次 鋒	中 堅	副 将	大 将	補 欠
氏 名	奥島憲彦	國廣博史	祐田 斉	小川金吾	山田雅士	
称号・段位	教士7段	教士7段	教士7段	教士7段	教士8段	

チーム名	Bチーム		監督氏名 佐藤 博喜			
	先 鋒	次 鋒	中 堅	副 将	大 将	補 欠
氏 名	瀬戸靖博	武田耕次	佐藤博喜	大和竹史	加野資典	中道政生
称号・段位	錬士7段	錬士7段	教士7段	教士7段	教士7段	錬士6段

団体戦の戦果は会報 11 月にて報告します。乞うご期待下さい。

【連絡事項】

①10 月例会は 10 月 20 日に変更しています。ご注意ください。

【ご案内】

10 月例会を 20 日に変更しましたのは、10 月 14 日 (日) 久留米アリーナで「第 45 回全日本杖道大会」が開催されるからです。当地区の会員である福田博文先生は杖道 8 段で杖道をご指導されてあります。杖道に興味のある方は是非応援に行ってください。

(Am9 : 15 開会です)

私と剣道

今回は園田 智弘先生をご紹介します。

園田先生は熊本県内でトップクラスの進学校である熊本高校を卒業され、防衛大学校に進学されてあります。

陸上自衛隊と言う厳しい社会の中で心身共に鍛えられてあります。

顔はいつも優しそうな穏やかな顔をしてありますが、内に秘めた厳しさを、かいま見る事があります。園田先生よりの寄稿をそのまま掲載させて頂いております。



私と剣道

園田 智弘

私が本格的に剣道を始めたのは、熊本市の帯山中学校に入ってからです。それより以前に、初めて竹刀を握ったのは、小学校2年生の時父親に連れられて、家の近くの空き地で短パン、シャツの上に防具を付け、靴を履いて、剣道と言うよりはチャンバラのようなことをやっていた記憶はあります。

中学時代は毎朝の授業前に朝稽古、授業終了後体育館にて、夜遅くまで稽古をし、いつも剣道部が最後に学校から帰っていたように思います。毎週土曜日は校内試合の日であり、百名を超える部員が、下から切り抜きで試合をし、序列が決まるというものでした。

中学の3年間は剣道漬けの毎日でしたが、振り返ってみればいい経験をしたと思っています。今でも当時の仲間とは交友を続けています。剣道続けている者は余りいませんが。当時の思い出で酒を酌み交わしながら、直ぐに中学生時代に戻れます。

その後、熊本高校、防衛大学校と剣道を続けていたのですが、卒業後陸上自衛隊に入ってから、仕事にかまけてほとんど竹刀を握らない時期が続きまして。

再び剣道をまじめに始めたのは、自衛隊を退職した55歳の時で、高校OB会の稽古会や家の近くの熊本県立武道館に於いて、週1~2回の稽古をし、約35年降りに四段の昇段審査を受験し、実技は合格したものの形で不合格となり、半年後にやっと合格、その4年後に五段を受験し又も実技は合格、形で不合格となりその半年後にやっと合格という苦い経験をしました。しかし、二度形の試験で不合格になったことから、形については自分なりにまじめに勉強し、最近やっと形を稽古する重要性が分かってきたような気がしています。順調に昇段していたら、形の重要性に気づくことなく剣道をしていたように思います。

国際社会人剣道クラブには、私の高校の大先輩であり尊敬する先生である野口範士八段に誘っていただき、多くの剣道を愛する先生方や先輩方と稽古をして頂くとともに、気迫を頂くことができ、大変良かったと思っています。今後とも御指導・ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

『座右の銘』

かまえ太刀 勝たんと思う心こそ

試合に負くるはじめなりけり